【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成16年7月22日(2004.7.22)

【公開番号】特開2001-273128(P2001-273128A)
【公開日】平成13年10月5日(2001.10.5)
【出願番号】特願2000-86324(P2000-86324)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　9/06
　Ｇ０６Ｆ　9/46
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　9/06　５４０Ｆ
　Ｇ０６Ｆ　9/46　３４０Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成15年7月2日(2003.7.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
処理を実行中の第１のタスクと、上記第１のタスクの処理を引き継ぐ第２のタスクと、ユーザからのデータ更新要求に基づいて上記第１のタスクの処理の引き継ぎに必要なデータ情報を上記第２のタスクに送信し、上記第１のタスクの処理を上記第２のタスクに引き継がせる更新制御手段と、を備えたことを特徴とするソフトウエアオンライン更新方式。
【請求項２】
上記第１のタスクと連携動作している１又は複数の第３のタスクを備え、
上記第１のタスクは、上記第３のタスクとの間の１又は複数のタスク間通信情報を上記更新制御手段に送信し、
上記更新制御手段は、上記データ情報と上記タスク間通信情報とを上記第２のタスクに送信し、上記第１のタスクの処理を上記第２のタスクに引き継がせることを特徴とする請求項１記載のソフトウエアオンライン更新方式。
【請求項３】
上記第１のタスクは、自身で管理する上記タスク間通信情報を上記第２のタスクに送信し、
上記第２のタスクは、上記第１のタスクにより送信された上記タスク間通信情報を自身で管理し、このタスク間通信情報に基づいて上記第１のタスクの処理を引き継ぐことを特徴とする請求項２記載のソフトウエアオンライン更新方式。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【課題を解決するための手段】
第１の発明は、処理を実行中の第１のタスクと、上記第１のタスクの処理を引き継ぐ第２のタスクと、ユーザからのデータ更新要求に基づいて上記第１のタスクの処理の引き継ぎに必要なデータ情報を上記第２のタスクに送信し、上記第１のタスクの処理を上記第２の

タスクに引き継がせる更新制御手段と、を備えたものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
第２の発明は、上記第１のタスクと連携動作している１又は複数の第３のタスクを備え、上記第１のタスクは、上記第３のタスクとの間の１又は複数のタスク間通信情報を上記更新制御手段に送信し、
上記更新制御手段は、上記データ情報と上記タスク間通信情報とを上記第２のタスクに送信し、上記第１のタスクの処理を上記第２のタスクに引き継がせるものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
第３の発明は、自身で管理する上記タスク間通信情報を上記第２のタスクに送信する第１のタスクと、
上記第１のタスクにより送信された上記タスク間通信情報を自身で管理し、このタスク間通信情報に基づいて上記第１のタスクの処理を引き継ぐ第２のタスクと、を備えたものである。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】
この発明では、ユーザからのプログラム更新要求に基づいて、第３のタスクと連携動作している第１のタスクの処理を第２のタスクに引き継がせることにより、第２のタスクが第３のタスクとの連携動作を継続することが可能になる。